

平成 30 年 10 月 5 日
福岡管区気象台
宮崎地方気象台

平成 30 年 10 月 4 日に宮崎県宮崎市島之内^{しまのうち}付近および
児湯郡新富町^{こゆぐんしんとみちよういくら}伊倉付近で発生した突風について

～ 気象庁機動調査班による現地調査の報告～

10 月 4 日 23 時 10 分頃、宮崎県宮崎市島之内^{しまのうち}付近で発生し被害をもたらした突風の種類は竜巻の可能性が高いと判断しました。その強さは風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF0 に該当します。

10 月 4 日 23 時 30 分から 24 時 00 分にかけて宮崎県児湯郡新富町^{こゆぐんしんとみちよういくら}伊倉付近で発生し被害をもたらした突風の種類は、竜巻の可能性のあるものの特定には至りませんでした。その強さは風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF0 に該当します。

10 月 4 日 23 時 10 分頃、宮崎県宮崎市島之内付近で突風が発生し、パイプハウスの鋼管の変形や瓦のめくれなどの突風による被害が発生しました。

また、同日 23 時 30 分から 24 時 00 分にかけて宮崎県児湯郡新富町伊倉付近でパイプハウスの鋼管の変形などの突風による被害が発生しました。

このため、10 月 5 日、宮崎地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

宮崎県宮崎市島之内付近

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断した。

（根拠）

- ・ 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・ 被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・ 被害や痕跡からは明瞭な回転性や収束性が確認されなかったが、風向が不規則であり、明らかに様々な方向を示していた。
- ・ ゴーという音が移動したという証言が複数得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF0 に該当する。

(根拠)

- ・ パイプハウスの鋼管の変形
- ・ 瓦のめくれ

宮崎県児湯郡新富町伊倉付近

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性があるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・ 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・ ゴーという音が移動したという証言が複数得られた。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害や痕跡、聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF0 に該当する。

(根拠)

- ・ パイプハウスの鋼管の変形

この資料は、速報として取り急ぎまとめられたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：宮崎地方気象台 担当 渡辺

電話 0985-25-4032 FAX 0985-25-5540